

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：北海道開発局建設部地方整備課
担当課長名：吉井厚志

| | | | | | |
|-----|--------------------------------|------|-----|------|--------|
| 事業名 | 主要地方道 西野真駒内清田線 | 事業区分 | 地方道 | 事業主体 | 札幌市 |
| 起終点 | 自：北海道札幌市中央区盤渓 至：北海道札幌市南区北の沢 | | | 延長 | 2.9 km |

事業概要
主要地方道西野真駒内清田線は、西区から中央区、南区を經由して豊平区へ至る延長約2.4 kmの幹線道路であり、都心から放射状に伸びる国道（5号、230号）を都心や市街地を迂回して連絡するとともに、沿道観光施設へのアクセス路としての利用や大規模自転車道の一部を担う重要な路線である。本事業は、当路線で唯一の隘路区間である小林峠部において、急勾配・急カーブの隘路解消を目的とし、トンネルを含む延長2.9 kmのバイパス整備を行うものである。

事業の目的、必要性
当該区間の整備は、急勾配・急カーブが連続する交通の隘路を解消し、交通安全の向上を図るとともに、都心へ流入する交通の分散化や沿道観光施設へのアクセス向上に大きく寄与し、また併設する自転車歩行者道の整備により、自転車利用促進に寄与するものである。

| | | | |
|-----------|---------|-------|---|
| 全体事業費 | 6.1億円 | 計画交通量 | 12,300台/日 |
| 費用対効果分析結果 | B/C 3.3 | 総費用 | 5.6億円 （事業費：5.3億円 維持管理費：3億円） |
| | | 総便益 | 1.84億円 （走行時間短縮便益：1.75億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：7億円） |
| | | 基準年 | 平成15年 |

事業の効果等
・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該区間の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある）
・個性ある地域の形成（主要な冬期観光施設である盤渓スキー場やコパワースキー場へのアクセス向上が期待できる）
・災害への備え（第2次緊急輸送道路に位置づけ、冬期交通障害区間の解消）
・他のプロジェクトとの関係（事故危険箇所緊急対策事業に位置づけ）

関係する地方公共団体等の意見
西野真駒内清田線の整備は、沿線の集客施設へのアクセス向上、大規模自転車道の整備促進、交通安全の向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、平成13年度には地元代表者より早期整備の要望を受けている。

事業概要図

| 凡 例 | |
|-------------------------|--------|
| 供用中 | —— |
| 事業中 | □□□□□□ |
| 平成16年度新規事業 〔再評価対象事業〕 | ▨▨▨▨▨▨ |
| うち供用中 〔再評価対象事業〕 | ▨▨▨▨▨▨ |
| 調査中 | □□□□□□ |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。